

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。



高齢者の交通事故発生状況

令和5年中

1 高齢者事故の発生状況

令和5年中の高齢者（65歳以上の人）が死傷した交通事故は、前年と比較して、発生件数、死者数及び負傷者数は増加しました。

死傷者の状態別では、四輪車運転中が約5割（648人中298人。46.0%）を占めて最も多く、次いで歩行中が約2割（140人。21.6%）を占めました。

また、高齢者の死者19人中12人が四輪車乗車中（運転10人、同乗2人）となりました。

【高齢者事故の発生状況】

（令和5年中）

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	595	19	19	167	462	629
前年	570	18	18	134	462	596
増減	25	1	1	33	0	33
率	4.4	5.6	5.6	24.6	0.0	5.5

【状態別高齢死傷者数】

（令和5年中）

区分	歩行中	四輪運転	四輪同乗	二輪乗車	自転車	その他	計
死者	4	10	2	0	2	1	19
構成率	21.1	52.6	10.5	0.0	10.5	5.3	100.0
重傷者	69	40	19	6	32	1	167
構成率	41.3	24.0	11.4	3.6	19.2	0.6	100.0
軽傷者	67	248	104	9	34	0	462
構成率	14.5	53.7	22.5	1.9	7.4	0.0	100.0
死傷者	140	298	125	15	68	2	648
構成率	21.6	46.0	19.3	2.3	10.5	0.3	100.0

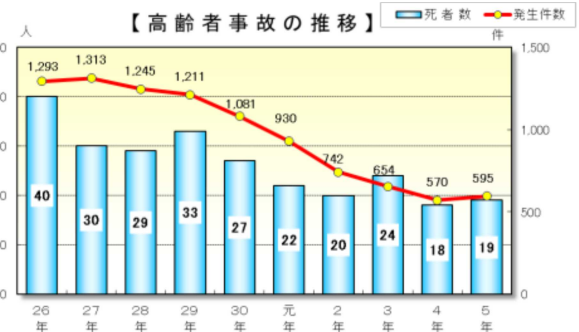
2 高齢者事故の発生推移（基礎データ平成26年～令和5年）

全人身交通事故が10年間で55.9%減少（平成26年9,142件→令和5年4,033件。-5,109件）しているところ、高齢者事故は54.0%の減少（平成26年1,293件→令和5年595件。-698件）となっています。

令和5年は、全交通事故死者の約4割（47人中19人。40.4%）を高齢者が占め、本県の高齢化率（※28.6%）を上回りました。

※ 高齢化率＝人口に占める高齢者の割合（総務省資料 令和3年10月1日現在）

【高齢者事故の推移】



区分	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
高齢者発生件数	1,293	1,313	1,245	1,211	1,081	930	742	654	570	595
高齢者死者数	40	30	29	33	27	22	20	24	18	19
高齢者負傷者	1,392	1,448	1,363	1,303	1,166	1,011	785	701	596	629
全事故発生件数	9,142	8,624	7,986	7,491	6,815	5,675	4,487	4,286	4,117	4,033
全事故死者数	83	66	71	51	56	65	44	42	37	47
全事故負傷者	11,703	10,913	10,057	9,353	8,509	6,941	5,483	5,182	4,912	4,932
構成率発生件数	14.1	15.2	15.6	16.2	15.9	16.4	16.5	15.3	13.8	14.8
構成率死者数	48.2	45.5	40.8	64.7	48.2	33.8	45.5	57.1	48.6	40.4
構成率負傷者	11.9	13.3	13.6	13.9	13.7	14.6	14.3	13.5	12.1	12.8

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

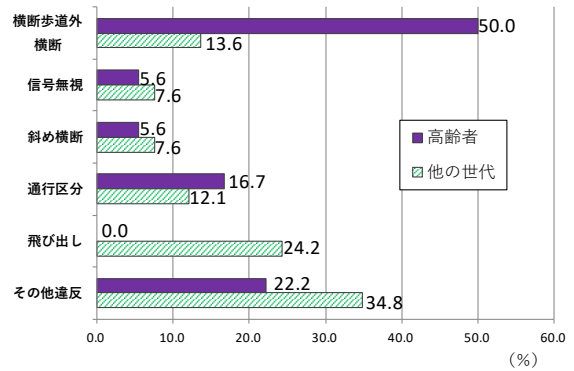
3 高齢者事故の発生特徴等 (基礎データ令和5年中)

(1) 歩行中の構成率が他の世代よりも高い

高齢死傷者の状態別で最も多かったのは、四輪車運転中 (648人中298人。46.0%) ですが、歩行中についても多く (140人。21.6%)、他の世代の歩行中死傷者 (4,331人中360人。8.3%) と比較すると高い構成率となりました。

また、歩行中の高齢者の死傷者140人中36人 (25.7%) に何らかの原因が認められ、うち横断歩道外横断が18人 (50.0%) と最も多くなりました。

【歩行者の原因】



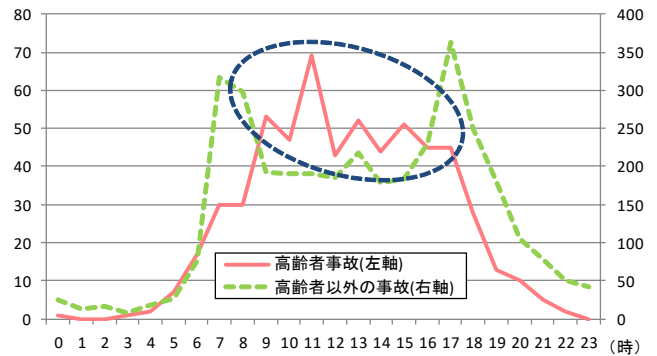
(2) 昼間の発生が多い

昼夜別では、昼間の発生が82.4% (595件中490件) を占めました。

時間別では、11時台の発生が特に多くなりました。

高齢者以外の事故は朝夕の通勤・通学時間帯に多発し、それ以外の日中時間は減少するのに対し、高齢者事故は朝夕は少ないものの、9時台から17時台の日中時間に発生が多くなりました。

(件) 【高齢者事故と高齢者以外の事故の発生時間】 (件)



4 過去10年間の高齢者事故の発生特徴

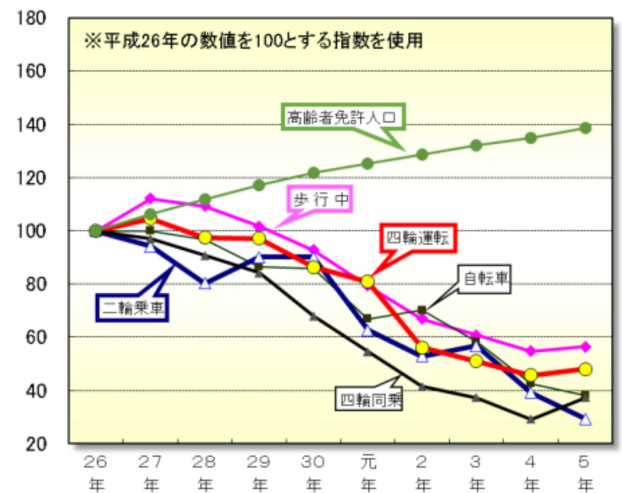
(基礎データ平成26年～令和5年)

(1) 状態別では増減しながら減少傾向

状態別で見る死傷者数は全体的に減少傾向にあります。

二輪車乗車中及び自転車乗車中の死傷者数は令和5年は前年より減少しましたが、歩行中、四輪車運転中及び四輪車同乗中の死傷者は、令和5年は前年より増加しました。

(指数) 【死傷者の状態別推移(指数)】



(2) 高齢者事故の月別発生状況

過去10年間の高齢者事故を分析すると、10月以降に多発する傾向にあり、夕暮れ時 (日没前後各1時間) に事故が増加する傾向にあります。

高齢歩行者の死亡事故については、日没が早まる9月以降に増加し、11月がピークとなっています。

(件) 【高齢者事故の月別発生件数(H26~R5)】 (人)

